

### 3社を新規認定

#### 防災防のコスモス

建設業労働災害防止協会（錢高一善会長）は2月26日、畠耕機（名古屋支店、中川崇社長）、大林道路四国支店（高松市、桑原豊執行役員支店長）、鳳志興業（青森市、永澤利昌代表取締役）の3社に「COHMS（コスモス）建設業労働安全衛生マネジメントシステム」認定証」を新たに交付した。東京都港区の三田鈴

木ビルで交付式を開き、防災防の田中正晴専務理事が中川社長と桑原支店長、永澤代表取締役に認定証を手渡した。

畠耕機と大林道路四国支店はニューコスモス、鳳志興業はコンパクトコスモスでの認定となっている。

中川社長は認定の取得を受けて「これからの時代、現場ごとに合った、より現場が取り組みやすく確実に安全を確保できるように取り組みを現場単位でしなければならぬと考えている」と語った。桑

原支店長は安全衛生活動の標準化による継承と担い手確保に向けた危険を排除した良好な職場環境の形成を、取得に向かったきつかけとして述べ、「リスクなどを明確にして改善することでレベルアップを図るとともに、安全を含めた心身健康増進と快適な職場の整備を進めていきたい」と今後の意気込みを述べた。永澤代表取締役は「経験に基づく暗黙知を、形式知として言葉で意思疎通できるようにかたちにするシステムは手薄だと感じていた。安全のための手続きや訓令の必要を若い

人に分かりやすく説明するためにコスモスは有用だ」と強調した。

建設防は2月28日に梅林建設を更新認定した。25日にこぶし建設と小国開発、26日にタカヤを更新認定する。このうち、こぶし建設はニューコスモスでの認定となっている。

2月26日現在で認定を取得している建設事業所などは134件（110社）で、適用事業場数は303となっている。



左から永澤代表取締役、桑原支店長、田中専務理事、中川社長

